

## 地域ケア推進会議 報告書

## 【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023.5.31
作成 高齢者支援センター	町田第1
作成者	齋藤美和子

1.開催日時	2023年5月22日	(月)	19:00	～	20:30	
2.会場	特別養護老人ホーム commons 1階ひろば					
3.主催センター	町田1	・	町田2	・	町田3	
4.参加人数	21					
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	7人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	10人	(うち、医師	人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	2人
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民	人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会	人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input type="checkbox"/> 行政	人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	( 大学教授1人 )				
6.開催テーマ	フレイル予防啓発リーフレットの活用に向けて					
7.地域課題	<p>(1) 課題設定の背景</p> <p>約3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の長期流行に起因する、外出自粛や地域活動の縮小、また社会生活が回復する段階で現在進行しているフレイルについて、フレイルについての正しい理解・フレイル予防の啓発を強化する必要がある。</p> <p>2023.2.17「身近な人にフレイル予防を伝えよう」をテーマに開催した地域ケア会議において、専門職間のフレイルについて正しい知識を理解することは果たしたが、専門職から市民へのフレイル啓発における課題が見えてきた</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <p>【2023.2.17の地域ケア推進会議において明らかになった課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「フレイル」について、その重要性について広く周知するために市民が知る機会を構築が充分にされていない。</li> <li>・高齢者本人だけでなく、家族も含めて繰り返し理解を促進が充分にされていない。</li> <li>・本人の状態に応じた取り組みを行うためには、多職種が正しい知識を身につけ、連携して取り組むことが充分にされていない。</li> <li>・社会参加を促進する為の地域との協働が充分にされていない。</li> </ul>					
8.会議の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023.2.17に開催した拡大会議の振り返りを行い、参加した職種間でフレイル予防に対する視点の違いがある事が共有された。情報を必要とされている方への伝達手段について等の議論を行った。今回参加が少なかった、訪問介護・通所介護事業所の方にも圏域で取り組んでいるフレイル予防について知ってもらうことが必要との提案もあり、次回以降の会議では連絡会に協力を仰ぐなど周知方法を検討する。</li> <li>・市民へフレイル予防を直接働きかける場が必要、各医療・介護事業所が日頃の業務の中での活用と並行し、各事業所での取り組みの促進や介護予防月間やRUN伴等のイベントとのタイアップを検討する。</li> <li>・2023年2月に開催され、市民から好評だった町プロでの測定会等からヒントやアイデアを活用し、フレイル予防に対して市民の関心を実際のアクションに移す手段を検討する。</li> </ul>					
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域で作成したフレイル予防啓発リーフレットを活用し、市民へ働きかける取組が各事業所で行われることを推進したい。その周知方法や好取組を今後開催予定の推進会議などで共有を行う。</li> <li>・何をもって地域のフレイル予防が推進されたとみるか？フレイル予防に取り組み改善された事例を共有する・取り組んだ方に1年後再測定を行うなど、効果測定の方法について検討を行う。</li> </ul>					
10.その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約3年ぶりに対面形式にて開催した。意見が出やすく議論が進みやすい面と、オンラインの利便性の高さを生かして、次回はハイブリット方式を検討する。</li> </ul>					

医療と介護の連携支援センター 確認日

5月31日